《第128回》　令和六年二月の作品

〈二月九日（金）　於・文京シビックセンター５Ｄ〉

登校児童

タッチする子等の手温し冬の朝　（奉男）

水仙や人みな優しき眼もて　（一江）

人を待つ春まだ浅き有楽町　（孝昭）

うららかやグラブ片手にはしゃぐ子等　（貴美）

春あらし全身麻酔の試練かな　（正雄）

房総へテニス合宿風光る　（隆治）

自販機の音たからかに冬の晴　（平六）

御製詠む声らうらうと宮の春　（正佳）

春昼の胡弓と笙の調べかな　（前歩）

渋滞を見下ろしてをり冬満月　（芙紗）